

2026 年 2 月 25 日

町田市動物愛護推進委員会

町田市防災安全部防災課

2025 年度 ペット防災に関する取組みについて

1 はじめに

市では、大規模震災発生時における初動対応を円滑に進めることを目的として、避難施設における開設訓練を実施しています。地域住民と学校が一体となった「高ヶ坂小学校での同行避難訓練」と、防災分野における普及啓発の広告塔となる「町田市防災アンバサダー」の活動について報告します。

2 高ヶ坂小学校におけるペット同行避難訓練（2025 年 12 月 6 日実施）

①訓練の背景と目的

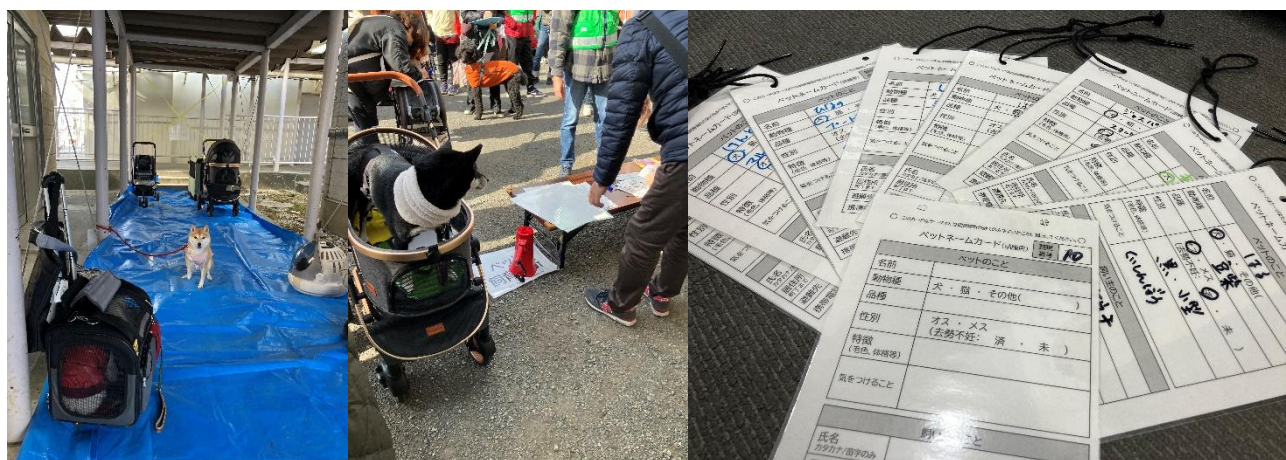
2025 年 8 月に開催された「避難施設関係者連絡会」において、高ヶ坂小学校を避難施設とする周辺の自治会・町内会および学校側との協議を行いました。この中で、多様化する避難ニーズへの対応として「ペット同行避難」を主要テーマの一つとしました。

②訓練の具体的内容

訓練では、通常の開設訓練に加えて、以下の実務的なシミュレーションを実施しました。

*** ペット専用受付の設置：** 一般避難者との動線を分離し、避難してきたペットの種類や健康状態を把握するための受付フローを確認しました。

*** 飼育スペースの設営：** 学校施設内の特定エリア（屋外の屋根付きスペース等）をペット専用エリアとして指定し、ケージの配置や衛生管理の方法を実践しました。



※高ヶ坂小学校における訓練の様子

3 町田市防災アンバサダーの委嘱：町田いぬねこ守り手ネットワーク

未来の担い手となる若い人など幅広い層に向けて、これまで以上に防災情報を効果的かつ親しみやすく発信するため、2023年度から、市と協力して活動できる個人・団体を「町田市防災アンバサダー」に任命し、情報発信に努めています。2025年度から新たに「町田いぬねこ守り手ネットワーク」を防災アンバサダーに委嘱しました。

- 主な活動内容：

1. 飼い主への教育：災害時でもペットが落ち着いて過ごせるよう、日頃からのケージ慣らしやしつけの重要性の啓発を目的としたセミナー実施（年5回）。
2. 在宅避難の周知：避難施設での物資・スペースには限りがあるため、最低3～7日分程度のペットフードや用品の備蓄を呼びかけ。



4 今後の課題

- 地域・学校との連携：高ヶ坂小学校の事例では、学校側（施設管理者）が積極的に運営に関与しており、地域防災における学校施設の重要性と、教育現場との連携がペット防災の鍵となることが示されました。
- 在宅避難とのバランス：避難施設における避難スペースには限りがあるため、安全が確保されている場合は住み慣れた自宅で過ごす「在宅避難」の選択肢を周知することも、避難施設の混乱を防ぐために不可欠です。
- アレルギー・動物苦手な避難者への配慮：訓練を通じてゾーニングの必要性は確認されましたが、実際に避難生活が長期化した場合のトラブル防止策には、さらなる検討の余地があります。

5 今後の展望

今後は、高ヶ坂小学校での訓練成果を他の避難施設のマニュアルにも反映させ、市内全域での「ペット同行避難」の質の平準化を目指します。また、有識者の助言をもとに SNS や地域イベントを活用した若年層飼い主への啓発活動を拡大する予定です。